

2017 年度 日本リトルシニア西日本選手権中国大会 大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会
主 管	関西連盟中国支部
期 日	平成 29 年 6 月 10 日（土）～平成 29 年 6 月 24 日（土）
場 所	未定
開 会 式	行いません
閉 会 式	6 月 24 日（土）：会場未定
参加チーム	日本選手権中国大会敗退チーム（敗者復活形式）：15 チーム
試 合 球	各チーム用意（シニアリーグ公認球：メーカー不問）試合ごとに 4 球

競 技 要 項

この大会は、日本リトルシニア中学硬式野球協会関西連盟大会規定及び中国支部が定める特別規則に基づいて実施し、**試合開始後 2 時間を経過し新しいイニングには入らない。**

- 1 **試合は 7 回戦とし、5 回をもって試合成立とする。（5 回までは 2 時間超えても試合を行う）**
なお、試合成立後の**延長戦は行わず、即タイブレーク**（最大 3 回：1 アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18 名）による抽選にて勝負を決する。
- 2 5 回以降 7 点差をもってコールドゲームとする（但し決勝戦は除く）
なお、**関西連盟特別規定**として**4 回以降 10 点差をもってコールドゲーム**とする。
- 3 各会場の球場ルールは、試合開始前に各会場の本部役員及び責任審判員により説明を行う。
- 4 メンバー交換は前試合**3 回終了後**、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・**ベンチ入り選手全員が集合し、選手カード・所定のメンバー表（4 部）・試合球（4 球）・投球確認シート**を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、**ベンチ入り選手の確認（選手カードの顔写真と背番号の照合）を実施し、**試合の先攻後攻を決定する。**（全試合実施）**
- 5 試合前のシートノックは 7 分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。
なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（各補助員は登録選手に限る）
- 6 次試合チームの**先発バッテリー 1 組**に限り、**メンバー交換終了後**、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、**ブルペンには試合の妨げにならないよう攻守交代中に入場**すること）
- 7 **ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、**捕手の安全を守る選手を 1 名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）
- 8 ベンチは若番が一塁側とし、ロージン・ボールボーイは支部取り決めどおりとする。
- 9 今大会の審判は、**決勝・三位決定戦のみ本部審判員が担当し、準決勝までは各チーム 2 名ずつ審判員を派遣**する。審判は第 1 試合の試合開始 1 時間前に待機し、第 2 試合以降は、前試合**3 回終了前**までに必ず審判控室にて待機する。**（審判服は支部指定）※審判カードを持参。**

その他の注意事項

- 1 外野フィールド内でのトスバッティングやノック及びスパイクシューズを履いてのキャッチボールを禁止する。（アップシューズ着用でのキャッチボールは可）
- 2 ウグイスは、第 1 試合の試合開始 1 時間前に、必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 3 審判への**お茶出し及び試合中におけるメンバー交換のアナウンスは行わない。**
- 4 各会場の球場担当は、**一塁側が本部当番、審判お茶出し、BSO、ボールボーイの空き箱用意。三塁側が試合速報入力、スコアボード操作（電光掲示板含む）**を担当する。
- 5 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 6 当日、事務局長が欠席の際は「事務局長代行届」を各会場の本部に提出すること。
- 7 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）